

本号はsm浸潤癌のよい指標とされ、通常内視鏡に比較して拡大内視鏡観察で最も有用性が高いとされるV型pit pattern診断について特集した。V型pit pattern診断基準の統一がみられ、読者もpit patternについてかなり理解しやすくなったとはいえ、本号の内容自体、かなり専門的で理解しにくい面もあったことが危惧される。操作性の向上により、近年の拡大内視鏡使用台数が増えたとはいえ、一般の実地医家にとっては一定時間内に一件でも多くの検査を行う必要があり、きちんと染色して拡大観察を行っている余裕がない点も依然として現実的な問題である。また、近年の内視鏡機器の著しい進歩により、以前は拡大

内視鏡でしか観察不可能であった表面構造が通常の近接像でも観察が可能となっており、新たな視点で通常内視鏡の診断限界を明らかにしたうえで、拡大内視鏡の有用性について議論する必要があると思われる。とはいえ、隆起型癌の深達度診断をどのようにするか、低異型度癌と高異型度癌の組織異型度の鑑別をどのようにするか、潰瘍性大腸炎合併癌やdysplasiaをどのように早期診断するか等、今後、拡大内視鏡に期待される役割はますます大きくなるとわれ、その意味でも、統一pit pattern分類について熟知しておくことは臨床研究のみでなく実地医療を行う上でもさらに重要となることが考えられる。

胃と腸

5月号(第39巻・第6号) 予告

発売予定 5月25日
定 価 2,520円

主題／深達度診断を迷わせる食道表在癌—その原因と画像の特徴

序 説	深達度を迷わせる食道表在癌—その原因と画像の特徴	東海大学医学部・外科	幕 内 博 康
主 題	食道表在癌の深達度診断を誤った要因—X線の立場から	東北公済病院・内科	加 藤 久 人
	深達度診断を誤った食道表在癌の検討		
	—X線の立場から	慶應義塾大学医学部・放射線診断科	杉野 吉則・他
	食道表在癌の深達度診断を誤った要因—内視鏡の立場から	佐久総合病院・胃腸科	小山 恒男・他
	食道表在癌の深達度診断を誤った要因—内視鏡の立場から	都立駒込病院・内視鏡科	門馬久美子・他
	高周波数細径超音波プローブによる食道表在癌の		
	深達度を誤認させる要因と画像の特徴	埼玉県立がんセンター・消化器内科	有馬美和子・他
	食道表在癌の深達度診断を誤った要因		
	—病理の立場からの検討	東海大学医学部・病理診断学	鬼島 宏・他
座談会	食道表在癌—深達度診断のピットフォール	都立墨東病院・外科	吉田 操・他

胃と腸 (第39巻 第5号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2004年4月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 2,520円(本体2,400円+税5%)

2004年年ぎめ予約講読料 35,010円

(増刊号 5,775円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2004, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株医学書院が保有します。

・JGLS <株日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に株日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 飯村・今田・山中・小松原